

# 新潟人間生活学会 第7回大会プログラム



日時：平成28年7月24日（日） 12時30分～16時30分

会場：新潟県立大学

入場無料

第1部 ポスターセッション（12時30分～13時30分 4101講義室前フロア）

12時30分～13時：コアタイム 13時～13時30分：ポスター賞投票

第2部 企画セッション（14時～16時 4101講義室）

司会 健康栄養学科教授 村山伸子

★学会長挨拶 人間生活学部長 田邊直仁



シンポジウム

テーマ：にいがた新品種作物の魅力とその未来

コーディネーター 小田切 文朗氏（新潟県立大学非常勤講師「新潟県の農産物と食品加工」科目担当  
元新潟県農業総合研究所基盤研究部長）  
立山 千草（新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科・教授）

米をはじめとした穀物や野菜は私たちの食生活に欠くことはできません。望ましい食生活を送る上で必要な農産物について理解を深めるために新潟県で育成される品種の現状に注目したいと思います。農産物には多様な品種が必要とされています。なぜなのでしょう。それは、まず、栽培される地域や時期に応じた気候・土壌条件に最も適した品種が求められているからです。また、時代の流れに沿って、味、形、大きさ、貯蔵性、機能性、作りやすさなどといったわたしたちが農産物に求めるニーズに応じたさまざまな特性を付与した多様な品種についての対応についても求められているからです。近年、育成品種された水稻「新之助」、えだまめ「新潟系14号」、日本なし「新美月」、新王」の開発秘話を通じて、にいがた農作物の魅力と新食材としての可能性について探ります。

<話題提供者>

新潟の新しい米「新之助」(30分)

参事・育種科長 石崎 和彦先生（新潟県農業総合研究所・作物研究センター）

えだまめ早生茶豆品種「新潟系14号」(30分)

主任研究員 佐藤 淳先生（新潟県農業総合研究所・園芸研究センター）

人工授粉が不要でおいしい日本なし新品種「新美月」、「新王」(30分)

専門研究員 松本 辰也先生（新潟県農業総合研究所・園芸研究センター）

総合討論 25分

★ポスター賞発表・贈呈

人間生活学部長 田邊直仁

★閉会の挨拶

子ども学科教授 齋藤 裕

【問い合わせ先】

950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471番地 新潟県立大学

TEL・FAX：025-270-1202 E-mail：ysaito@unii.ac.jp

人間生活学部子ども学科 齋藤 裕（大会実行委員長）

